

令和 7 年 2 月 4 日  
生活文化政策部  
人権・男女共同参画課

## せたがや未来の平和館（区立平和資料館）開館 10 周年記念事業について

### 1 主旨

戦後 80 年にあたる本年は、世田谷区平和都市宣言から 40 年、せたがや未来の平和館開館から 10 周年を迎える節目の年である。

このことを契機に、区民の方々へあらためて平和について考える機会を創出するとともに、幅広い年代に向けて、戦争の悲惨さや恒久平和の大切さを発信するため、各種事業を実施する。

### 2 平和事業に関するこれまでの経緯

|                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 昭和 60 年（1985 年） | 平和都市宣言              |
| 61 年（1986 年）    | 世田谷公園に「平和の祈り像」設置    |
| 平成 2 年（1990 年）  | 世田谷公園に「平和の灯」設置      |
| 4 年（1992 年）     | 「被爆二世の木」が寄贈される      |
| 7 年（1995 年）     | 玉川小学校内に平和資料室設置      |
| 27 年（2015 年）    | 世田谷公園内にせたがや未来の平和館開館 |

### 3 開館 10 周年記念事業について（予定）

#### （1）10 周年記念誌発行

せたがや未来の平和館の足跡をたどるとともに、収蔵品や語り部のお話 DVD、学校や地域での啓発活動などを紹介する記念誌を発行する。

#### （2）常設展示リニューアル

常設展の内容をリニューアルするとともに、展示順序の工夫や文字にルビを振るなど分かりやすく読みやすい展示を行う。

#### （3）公園内サインの見直しと新設

世田谷公園へ来られた方が、せたがや未来の平和館へ来館しやすくなるよう、サインの新設も含め、全体的な見直しを行う。

#### （4）記念シンポジウムの開催

平和に深い見識のある著名人を招き、シンポジウムを開催し、平和についてあらためて考える機会の創出とともに、戦争の悲惨さや平和の尊さを子どもたちにどのように継承していくか討論する。

(5) 演劇「あの夏の絵」の上演

広島県立基町高校の「原爆の絵」を描く取組みをモデルとした演劇。「被爆証言を聞いて絵に描く」取組みに、迷いながら参加した美術部員3名の高校生を中心に、互いにぶつかり合いながら友情を育む姿を描くとともに、葛藤しながらも描くことに真剣に向き合い、非被爆者（非体験者）にとっての＜原爆という経験＞の意味を描いた演劇を上演する。

(6) スタンプラリー（拡大版）の実施

若年層（小学生以下）を主な対象とし、毎年、世田谷公園で実施しているスタンプラリーを記念事業として位置付け、これまでの手法を見直し、多くの方が参加できるよう工夫し実施する。

(7) 周知・啓発

リーフレットのリニューアルと多言語化を行うとともに、せたがや未来の平和館をより親しみをもっていただくよう、ロゴを作成し、様々な周知・啓発に活用する。

4 概算経費

約1,009万円

5 今後のスケジュール（予定）

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 令和7年4月～ | 順次、常設展示のリニューアル、サインの見直しと新設リーフレット、ロゴの作成 |
| 7月上旬    | 10周年記念誌発行                             |
| 7月16日   | 記念シンポジウムの開催                           |
| 20日     | 演劇「あの夏の絵」上演                           |
| 秋頃      | スタンプラリー拡大版の実施                         |